

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合/自家用車に頼らなくても移動しやすいまちと思う市民の割合/公共施設の維持管理運営コスト/日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組めます。	行財1-4-①	区単位の研修の実施回数	年6回以上		各種職員向け研修の実施	時代に即した各種職員研修を実施するとともに研修への参加を促し、職員の資質向上及びスキルアップを目指します。			
2	区バス・住民バスの利用を促進するため、啓発活動を実施するとともに、地域の実情に応じた移動手段の確保への支援を行うなど、より使いやすい公共交通の実現につなげます。	政策14-1-②	①公共交通利用促進に向けた取組の実施回数 ②公共交通空白・不便地域の解消に向けた支援の実施	①5件以上 ②実施		みんなで語り、考える使いやすい公共交通	生活交通改善プランの基本方針を踏まえ、地域に出向いた利用啓発に取り組むほか、公共交通空白・不便地域における助け合いの移送支援を実施するため、課題解決に向けた協議を地域や関係機関と進めます。			
3	将来を見据えた財産経営を行っていくため、地域へ丁寧な説明を行い理解を得ながら、地域別実行計画の策定を進めます。	行財2-2-①	両川地域の計画策定に向け、地域との検討に着手する	着手		地域別実行計画(両川地域)の策定	当該地域における公共施設の将来のあり方について、人口や利用需要の変化、地域特性などを加味しながら、地域住民との協働により検討し、計画を策定します。			
			大江山地域実行計画に基づく施設改修	実施設計の完了		大江山農村環境改善センター改修	大江山地域実行計画に基づき、多世代交流を図る、地域の拠点施設を目指し、現在の施設規模を維持したままコミセン化に向けた大規模改修を行います。			
4	大規模な災害に対応するため、区民との協働により地域防災力を向上させます。	政策13-1-①	区内防災訓練実施件数 (・ジュニアレスキュー隊育成講習会は中学校1校あたり1件とする。 ・自主防災組織推奨訓練内容を含む講座等の開催は1件とする。)	49件		・自主防災組織への支援 ・江南区ジュニアレスキュー隊育成講習会の開催 ・さわやかトーク宅配便(防災講座)	自主防災組織や地域コミュニティ協議会等への防災訓練を支援するほか、区内公立中学校全6校でのジュニアレスキュー隊育成講習会を通じて、若年層も含めた防災意識を啓発し、地域の防災力向上に努めます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	課内研修開催件数(回数)	35回		職員の市民対応の質を向上させるための課内研修の開催	日頃の市民対応等を通して、業務に関する根拠などを改めて確認することが必要と思われるものを、職員自らが見出し、それらをテーマとする研修を課内で開催します。			
2	市民サービスの向上に向け、業務や窓口の改善を推進します。		改善実践件数	30件		課内の窓口や業務改善活動の推進。	課内の業務改善活動を通して課題を把握し、業務や窓口の改善を実践します。			
3	子どもや高齢者をはじめとして、区民が安心して暮らせる環境づくりを進めます。		交通安全教室・街頭指導などの回数	80回		交通安全活動の強化	交通安全運動期間における街頭指導・啓発活動を実施するとともに、交通安全教室、校区単位での交通安全活動の促進を図ります。また、高齢者・夜間の交通安全意識啓発に取り組めます。			
4	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、美化推進活動に取り組みます。	政策16-施策2-②	ボランティア清掃実施件数	65件		江南区美化推進活動	環境保全・環境美化に対する意識を高めるため、区民、事業者、行政が連携して行う地域一斉清掃や自治会・町内会等が実施するボランティア清掃を推進します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	横越出張所			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待にこたえられるよう、職員の市民対応の質を向上させるなど市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行財1-1-①	各種研修会への参加及び職場内研修の実施回数	5回		各種研修会への参加及び職場内研修の実施	職員の窓口対応能力の向上を図るため、各種研修会へ参加し、業務知識を共有するため参加した職員による伝達研修を行います。また、職員のスキルアップを図るため、職場内研修を実施します。			
2	適正な事務の執行を確保するため、コンプライアンスの徹底、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	職場ミーティング実施回数	24回		職場ミーティングの実施	職場ミーティングにおいて、受付件数の少ない業務のフロー等を共有し、職員の知識の平準化を図ることで、適正な事務の執行を確保するとともに、コンプライアンス意識を浸透させ、職員一人ひとりの意識改革を図ります。			
3	来庁者にとって利用しやすく、心地良い施設づくりを進めます。		敷地内・庁舎内環境整備回数	24回		施設の環境整備	敷地内・庁舎内の巡回・点検・整備を行います。合わせて、市民ホール棟を活用した地域の魅力発信に努めます。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画における政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合/障がい者を理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合/住み慣れた地域で安心して暮し続けることができると思う高齢者の割合/新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	健康福祉課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組めます。	行財1-4-①	研修の実施回数	年6回以上		各種職員向け研修の実施	時代に即した各種職員研修を実施するとともに研修への参加を促し、職員の資質向上及びスキルアップを目指します。			
2	障がいのある人に対応した就労の場の確保等に、商・農業者と連携して取り組めます。	政策7-2-③	商・農業者と障がい福祉事業所による就労マッチング件数	15件		就労マッチングの仕組み構築と魅力ある授産品の開発	商・農業者と障がい福祉事業所による連携体制を構築し、仕事の受注、魅力ある授産品の開発や販路の拡大などを通じて、就労が難しい障がいのある人に対応した就労の場の確保や工賃増額に向けた取り組みを促進します。			
3	地域の中で、認知症高齢者を支援したい人、子育てを応援したい人を掘り起こし、地域全体で認知症高齢者や子育てを見守ることで、高齢者や子育て世代を支え、安心して暮らせる地域を実現します。	政策7-1-②	江南区見守りシール交付事業の関係者への周知件数	40件		会議や訪問により関係者(医療機関・調剤薬局・金融機関・福祉施設等)へ事業を周知	福祉関係者のみならず自治会、コミ協、自治協をはじめ、商工業、農業関係者、市民に対して、地域を見守る目と見守る心の意識づけを行うことで、子育て世代、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを目指します。			
		政策1-3-②	子育て応援団への新規登録者	30人		地域で子育てを応援したい方に「江南区子育て応援団」に登録してもらい、江南区親善大使を活用した応援団バッジを配布				
4	障がい者が製作したアート作品を活用し、障がい者への理解を深めるとともに、共生社会についての機運醸成を図ります。	政策1-3-②	アンケート結果の評価	4.0点以上		障がい者アートの展示による共生社会の周知および啓発活動の実施	福祉施設や特別支援学校等が集積した江南区の地域特性を生かし、障がい者に対する理解促進の取組みを進め、共生社会実現に向けたまちづくりを行います。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R8.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要			
1	歴史ある亀田縞など地域に根差した産業の振興と活性化に向けた取り組みを推進します。	政策8-1-④ 行財3-2-②	亀田縞の活用を推進する取り組み数(事業)	4		・亀田縞つなぐ・ひろがる・プロジェクト	総合学習への支援や情報紙発行などにより地域ブランドとしての認知度向上を図ります。また、亀田縞の利用拡大と、地域アイデンティティとしての醸成を促進します。			
2	地域コミュニティの一端を担う商店街などの地域商業の振興を図るとともに、地域に根差した歴史、文化、まちなみ、郷土芸能などの地域の宝を活用することで交流人口の拡大と地域商業の活性化を推進します。	政策8-1-④ 行財3-2-②	商工観光への支援に関する取り組み数(事業)	2		・地域商業活性化支援	商業関係者などとともに区内の個店を巡るような取組みや、地域の歴史あるイベントへの支援を通じて、区全体の商業の活性化を進めます。			
3	江南区が有する素晴らしい歴史や伝統を後世へ継承し、文化芸術などに触れる機会を提供します。また、区内産農産物を学校給食に提供することで、食材を通じた地域の魅力再発見や、ふるさとへの愛着を育みます。	政策2-2-① 政策9-2-②	・江南区歴史・文化の学習支援事業を利用する学校数(校)	6		・江南区歴史・文化の学習支援	地域の歴史や文化を学ぶことでふるさとへの誇りや愛着を醸成を図ります。			
			・地元食材を学校給食に提供する回数(回)	1		・地元食材で育む学校給食	地元農産物を学校給食に提供し、食材や料理を通し、ふるさと愛を育みます。			
4	江南区の農業の特性を活かし、区民がより「農」に親しむことで、地元生産者や農産物への理解を深めるとともに、更なる地産地消の推進を図る取り組みを進めます。	政策9-2-② 行財3-2-②	江南区産農産物のPR等の取り組み回数(回)	4		・江南区まるごとプロモーション事業	江南区産農産物や農産加工品のPRを実施し、更なる地産地消を推進します。また、よこごし公園マルシェを継続的に開催し、更なる賑わいの創出につなげます。			
5	民間事業者など多様な主体との公民連携によるまちづくりを進めるため、民間事業者からの提案・相談を受け、地域活性化につながる取り組みを支援します。	行財3-2-②	新たに民間事業者が主体となる取り組みに対して新規に支援した件数(回)	2		・公民連携による地域活性化の推進	民間事業者が主体となる地域活性化につながる取組に対して、実行委員会参画や補助金などにより支援します。			

組織目標管理シート

年度	令和8年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・道路(橋を含む)が適切に整備・管理されていると思う市民の割合	作成日	R8.4.1
組織名(部)	江南区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課			評価日	

○:達成、△:一部未達成、×:未達

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R8目標	R8結果	取組名称(事業名)	概要		
1	市全体や区の持続的な発展に繋がる計画的な土地利用を図ります。		2件の事前協議を開始する(件数)	大規模な開発事業を確実に実施するため、開発事業者との事前協議を進める。		市街地と田園・自然の魅力を活かした都市環境づくり	新たに市街化区域に編入された区域の開発事業を推進するため、事業者への支援や事業実施に必要な法手続きを進めます。		
2	複雑化、多様化する区民ニーズや課題に対して、質の高い行政サービスを提供します。		3日以内での対応率(%)	100%		区民対応の迅速化	窓口や電話、メール等での突発的な区民からの苦情・要望に対して、対応方針を開庁3日以内に伝えるなど迅速・丁寧に対応します。		
3	区民要望の速やかな実現と施工時期の平準化を図るため、工事の早期発注を行います。		上半期発注率(%)	80%		工事の早期発注	年間発注予定件数40件(まちづくり整備8件、維持係32件)		
4	高度化・複雑多様化する行政課題を市民の視点で考え、解決することができる職員を育成します。また、急激に変化する経済社会状況や将来起こりうる課題に対応できる職員育成に取り組みます。	行財1-4-①	研修会実施回数(回)	4回(延べ)		職員の能力開発、キャリア育成	職員の専門知識、技術力及び説明能力の向上を図る研修会実施します。		